

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成23年5月19日 (2011.5.19)

【公表番号】特表2010-530316(P2010-530316A)

【公表日】平成22年9月9日 (2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2010-506202(P2010-506202)

【国際特許分類】

**B 4 1 N 1/12 (2006.01)**

**B 4 1 C 1/05 (2006.01)**

**C 0 8 L 69/00 (2006.01)**

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/36 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 N 1/12

B 4 1 C 1/05

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 101/00

B 3 2 B 27/36 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月29日 (2011.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

20  $\mu$ m を超える厚みを有し、そしてフィルム形成材料を含むレーザーアブレート可能層を含んで成るレーザーアブレート可能要素であって、

前記フィルム形成材料は、レーザーアブレート可能材料であるか、又は前記フィルム形成材料は、該フィルム形成材料中に分散されたレーザーアブレート可能材料を有し、

前記レーザーアブレート可能材料は、10 / 分の速度で、300 まで加熱したとき、その質量を少なくとも60%失って、少なくとも1つの主として低分子量の生成物を形成するポリマー材料である、レーザーアブレート可能要素。

【請求項 2】

前記フィルム形成材料が、前記レーザーアブレート可能材料であり、そして前記レーザーアブレート可能層が、粒子状材料又はマイクロカプセルをさらに含む請求項 1 記載の要素。

【請求項 3】

前記フィルム形成材料が、前記フィルム形成材料内に分散されたレーザーアブレート可能材料を含む請求項 1 又は 2 に記載の要素。

【請求項 4】

フィルム形成材料が、該フィルム形成材料中に分散された前記レーザーアブレート可能材料を含み、そして前記レーザーアブレート可能層が、該レーザーアブレート可能層中に分散された粒子状材料又はマイクロカプセルをさらに含む請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の要素。

【請求項 5】

前記レーザーアブレート可能材料が、主たる低分子量生成物としてシアノアクリレート  
を形成するポリシアノアクリレートである請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の要素。

【請求項 6】

前記レーザーアブレート可能材料が、主たる低分子量生成物として環式アルキレンカー  
ボネートを形成するポリカーボネートである請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の要素。

【請求項 7】

フレキシソ印刷用印刷版を製造する方法であって、

A) 請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のレーザーアブレート可能層を用意する工程、  
そして

B) 前記レーザーアブレート可能層を、少なくとも  $1 \text{ J} / \text{cm}^2$  のエネルギーのところで  
レーザーを用いて直接的像様アブレートして、レリーフ画像を提供する工程  
を含んで成る、フレキシソ印刷用印刷版を製造する方法。